

一般会計 97億2,000万円

平成19年度予算の特徴

平成19年度当初予算額は前年度当初予算額と比較して10億2,800万円(11.8%)の増となりましたが、これは横芝中学校建設事業(8億6,000万円の増)、公共下水道終末処理場用地取得事業(3億8,900万円の増)などの特殊要因によるものです。

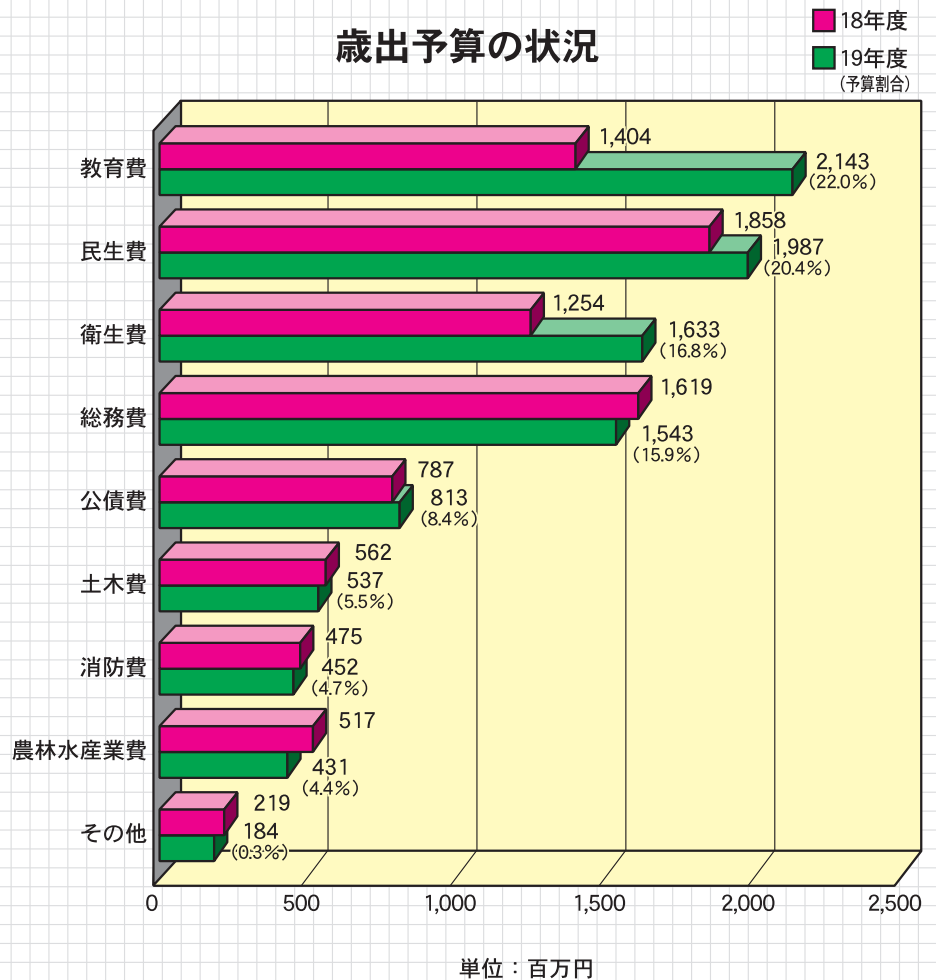
歳入では法律改正による税金の増は見込めますが、地方交付税(1億2,600万円の減)、所得譲与税(1億8,000万円の廃止)などが減額となっており、財源を確保するため、町の貯金である基金の取り崩し(9億9,600万円)や、地方債(9億8,700万円)などの借金に頼っているため、町の財政状況は大変厳しいものといえます。

このような財政状況のなかで、住民サービスの維持、向上を目的とした各種施策や小学生までの医療費の無料化、また、新町建設計画に盛り込んだ事業を遂行するため、退職者不補充などによる人件費の削減(1億円)の減、をはじめ各種事業の見直しを進めた中で事業のスリム化を図っております。

なお、町有バスの維持管理については、経費節減や他の自治体の例を考慮し、当町の規模から3台の所有は困難であるため2台とすることとしています。

また、現行の運行方法では、事故などの不測の事態が生じた場合に賠償責任などで対応が難しくなることも想定されることから、町有バスの運行業務については民間業者へ委託することとしています。

歳出予算の状況



歳出

新町の将来像として掲げた「栗山川の流れがはぐくむ 人・自然・文化が共生するまち」の実現へ向け、新町建設計画に盛り込まれた、栗嶋橋架橋・取付道路整備事業をはじめ、横芝中学校校舎等改築事業などの合併特例債対象事業に加え、南条小学校耐震補強事業や、子育て支援の一助となる小学6年生までの医療費無料化などを計上しました。

また、町の基幹産業である農業振興策として、経営体育成基盤整備事業や農免道路・広域農道整備事業等の推進を図るほか、町道Ⅱ-11号線道路改良事業、町道2258号線道路改良事業をはじめとする道路網の整備・促進、その他、教育の振興、福祉・医療の充実、生活環境の整備、防災対策など住民福祉の増進を図るための予算を編成しました。